

授業科目名	教育方法論			科目コード	K1203L02
英文名	Teaching Methodologies				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	水上 義行		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	学習指導要領に基づく、教育方法の基礎的・基本的内容を理解するとともに、教育方法の歴史的変遷、授業、学力、子ども理解など、小学校現場における様々な課題を取り上げ、具体的な実践に即しながら展開する。講義形式をとるものの、情報機器の活用や授業観察、模擬授業、グループ討議などを取り上げていく。実務経験のある教員による授業				
キーワード	①教授・学習	②授業の構想	③学習意欲	④情報機器	⑤
到達目標	①教育方法の基礎的・基本的内容・方法を理解し、教育のかかえる様々な課題に対応できる理論や実践を通して、教員としての資質の向上や指導技術を高めることができる。				
	② 教育方法の変遷について、歴史上に登場する人物を取り上げながら説明できる。				
	③ 諸外国等の新たな学力観や新たな学校制度を知り、個々の特性に対応できる方策がとられていることが理解できる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
◎	◎		◎		
ディプロマポリシー	3.地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	◎	◎	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎	○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	教育方法の歴史的概観① (1～15回は、実務経験のある教員による授業)		
	【予習】 明治以降の我が国の学校教育に影響を与えた人物や業績等について調査する。		20分
	【復習】 講義内容や学習成果をまとめる。		20分
第2回	教育方法の歴史的概観②		
	【予習】 明治以降の我が国の学校教育に影響を与えた人物や業績等について調査する。		20分
	【復習】 講義内容や学習成果をまとめる。		20分
第3回	教育方法の基礎理論		
	【予習】 テキスト第1章、2章を精読して講義に備える。		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第4回	様々な学力調査と学習指導要領		
	【予習】 テキスト第3章を精読し、学力調査の概要と指導要領の変遷を調べておく。		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第5回	授業のデザイン		
	【予習】 第4章 授業のデザインを精読し、授業計画の立案を考えておく。」		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第6回	授業のスタイル		
	【予習】 テキスト第5章 授業のスタイルを精読し、教師及び学習者の立場を考えておく。		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第7回	授業のタクト		
	【予習】 テキスト第6章 授業のタクトを精読し教師の役割を考えておく。		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第8回	学習意欲と授業		
	【予習】 テキスト第7章 「学習意欲を創る」を精読し、学習意欲の向上について考えをまとめておく。		20分
	【復習】 講義結果をまとめる。		20分
第9回	学習指導案と模擬授業①		
	【予習】 模擬授業に対しての計画及び実践にむけての対策を考えておく。		20分
	【復習】 模擬授業後の学習内容を整理する。		20分

第10回	学習指導案と模擬授業②	
	【予習】模擬授業に対する計画及び実践にむけての対策を考えておく。	20分
	【復習】模擬授業後の学習内容を整理する。	20分
第11回	デジタル社会の情報リテラシーとICTの利活用	
	【予習】テキスト第10章を精読し、これからの社会が要請するICT活用についての考えをもとめておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第12回	学びのピオトープー 総合的な学習の時間ー	
	【予習】テキスト第11章を精読し、総合的な学習の時間についての現状を把握しておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第13回	グローバル社会で求められる能力と教育方法	
	【予習】テキスト第12章を精読し、「生きる力」の概要を調べておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第14回	21世紀の学びのスタイル	
	【予習】テキスト13章を精読し、21世紀に求められる学びの概要をとらえておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第15回	これからの教師に求められるもの	
	【予習】14回の講義を受けて、教師の在り方を具体を通して発言できるようにしておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第16回	全体のまとめと試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目②及び③では、15回の取組状況及び小レポート(40%)、学期末に実施するテスト(40%)や歴史上の人物とその業績の整理など(20%)により総合的に評価する。なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	『学びを創る学びを支える』 一藝社	使用資料 ＜参考図書＞	小学校学習指導要領（平成29年告示）
授業外学修等	積極的に公開授業研究会に参加して見聞を広める。		
授業外質問方法	授業の前後		
オフィス・アワー			